

スピードダウンを 札建協が交通安全啓発

札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は24日、札幌市中央区北1条西6丁目交差点で交通安全街頭啓発をし、歩行者やドラ



イバーに安全運転を呼び掛けた。
第41回建設産業交通安全大会開催に合わせ、安全大会開催に合わせ実施した。今回は新型

29.24

北海道建設新聞

沿道から交通安全を呼び掛けた

コロナウイルス感染防止の観点から規模を縮小。交通安全・暴力対策委員会に所属する企業から約15人が参加し、「スピードダウン」などと書かれた旗を掲げた。
札幌中央警察署の折坂昌樹交通官は「交通安全活動は関係機関や団体の協力の上に成り立っている」と指摘。「5年推移で死傷事故は減少傾向にあるが皆さまの努力のたまものだと思う」と感謝していた。

旗の波で事故防止訴え

札建協 交通安全街頭啓発

札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は24日、札幌市内の中央区北1条西6丁目交差点で交通安全街頭啓発を行った。交通安全・暴力対策委員会（竹田邦治委員長）の委員ら約20人が参加。のぼりや安全旗による「旗の波」をつくり、交通安全を強くアピールした。秋の街頭啓発は、建設産

29.24

北海道通信

業交通安全推進北海道本部が主催する「建設産業交通安全大会」に先立ち毎年実施しているもの。
例年、会員企業から100人以上が参加しているが、今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から規模を縮小。マスクの



着用、安全旗の消毒に加え、ソーシャルディスタンス

スの確保なども徹底した。一行は、揃いのベストを着用して、のぼりや手旗による旗の波の活動を展開。歩道に並んでドライバーに安全運転を要請した。協会では「これから工事追いつみ期に入るが、交通事故防止に気を引き締めていく必要がある」と取組の重要性を強調。来賓として訪れた中央警察署の折坂昌樹交通官は、街頭啓発が交通事故の防止につながることを期待していた。

道行くドライバーに安全運転を呼びかけた